

関西SDGsプラットフォーム SDGsへの取り組みヒアリング

企業名	株式会社アーバンリサーチ
担当者	事業支援本部経営企画部 萩原 執行役員、経営企画課 畑口
会社概要	卸売・小売業(衣服・繊維製品)
	衣類・小物類等を販売するセレクト店舗運営のアパレル会社
従業員数	1,000人~3,000人未満

SDGsへの取り組み

1	貧困	
2	飢餓	
3	保健	
4	教育	
5	ジェンダー	
6	水・衛生	
7	エネルギー	
8	経済と雇用	障がい者や就労困難者などの雇用や働く機会の創出
9	インフラ革新	廃棄衣料を持続的に活用する基盤構築
10	不平等	
11	持続可能都市	
12	生産消費	廃棄衣料の大幅削減
13	気候変動	廃棄衣料の焼却処理削減による気候改善
14	海洋資源	
15	陸上資源	
16	平和	
17	パートナー	研究グループ、NPO法人、地域、などと協力して付加価値を創造



取り組みにつきコメント

- ・SDGsを事業化してきたのではなく、本質的にやりたいというチャレンジ指向の風土。結果やってきた事業がSDGsだった
- ・廃棄衣料の悩みに対しNPO法人や研究団体などのマルチステークホルダーと協働し、雇用や働く機会の創出と新たな製品の企画、廃棄衣料の有効活用に繋げた。
- ・JAPAN MADE PROJECT：長崎、石川、東北、熊本、京都などの地域コミュニティとの取り組み。

備考(ヒアリング結果抽出)

・自分たちのできる範囲でできることをやり、特に背伸びしない、欲をかかない気風。

・会社としては外向けに取り組み打ち出しはされていない。そこを現在整備していく必要があると考える、社内のSDGs基本方針を策定し、経営方針に取り込んでもらえるように活動を予定

・ストーリーをしっかりと作り上げることで、販売スタッフが共鳴。自然と店頭販売スタッフの熱意や誇りになり、しっかりと理解したうえでディスプレイ、商品説明ができるようになっていく

・独特の発想：社内意見が出やすい、社長も同じフロア、話しやすい。

・“お店がある地域の方々に喜んでもらいたい。地元の方々と職人、産業の方とつながり、パチッとハマれば商品化”地元の方から愛される商品、それが出来て地方での営業につながり、また別の地方からお声掛け頂ける。良い循環につながっている。